

3年生

3年生		知識・理解		数学的な考え方		算数への 関心・意欲・態度	
技能		知識・理解		数学的な考え方		算数への 関心・意欲・態度	
A 数と計算	整数を表したり、端数部分の大きさなどを小数や分数で表したり、整数の四則計算や、小数及び分数の加法及び減法の計算をしたりするなどの技能を身に付けている。	整数、小数、分数についての感覚を豊かにするとともに、整数の表し方についての理解を深め、整数の四則計算の意味、小数や分数の意味と表し方、小数の加法及び減法の意味について理解している。		整数、小数、分数の意味や表し方、整数の四則計算などについての知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりしている。		整数、小数、分数の意味や表し方、整数の四則計算にかかわる性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることの楽しさやよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしている。	
	・万の単位を用いて数を表したり、読んだりすることができる。	・万の単位について理解している。		・一つの数と、その10倍、100倍、1/10の大きさの数との関係を調べ、それぞれの数字の並び方は変わらないことを見いだしている。		・十進位取り記数法の有用さに気づき、1万より大きな数を表そうとしている。	
	・一つの数を10倍、100倍、1/10にした大きさを表すことができる。	・10倍、100倍、1/10の大きさの数及びその表し方について理解している。		・数の相対的な大きさの見方を活用して、計算の仕方を考えている。			
		・数の多面的な見方や相対的な大きさについて理解し、身の回りにある数の大きさについて具体的にとらえるなど、数についての豊かな感覚をもっている。					
	・3位数や4位数の加法及び減法の計算が確実にできる。	・3位数や4位数の加法及び減法の計算が2位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。		・3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方を考えている。		・3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方を考えたり、計算を活用したりすることの楽しさやよさに気付いている。	
	・2位数と2位数との加法及びその逆の減法の答えを暗算で求めることができる。	・3位数や4位数の加法及び減法の筆算の仕方について理解している。		・加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かしている。			
	・2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が確実にできる。	・2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解している。		・2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算の仕方を考えている。		・2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算の仕方を考えたり、計算を活用したりすることの楽しさやよさに気付いている。	
	・2位数と1位数との乗法の答えを暗算で求めることができる。	・2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の筆算の仕方について理解している。		・乗法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かしている。			
	・除数と商が共に1位数である除法の計算が確実にできる。	・包含除や等分除など、整数の除法の意味について理解している。		・簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を考えている。		・除法の意味や計算の仕方を、乗法や減法と関連付けて考えようとしている。	
		・除法と乗法や減法との関係について理解している。					
		・除法の余りの意味や余りは除数よりも小さいことを理解している。					
	・端数部分の大きさを 小数を用いて表すことができる。	・小数が用いられる場合や小数の表し方、1/10の位について知り、小数の意味について理解している。		・端数部分の大きさを表すとき、整数の十進位取り記数法の考えを基に、1を十等分して新たな単位 (0.1)をつくり、その大きさの幾つ分かで表すなど、拡張して考えている。		・小数を用いると整数で表せない端数部分の大きさを表すことができるなどのよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしている。	
	・1/10の位までの小数の加法及び減法の計算ができる。	・小数の構成や小数の大きさなどについての豊かな感覚をもっている。		・1/10の位までの小数の加法及び減法の計算の仕方を考えている。		・1/10の位までの小数の加法及び減法の計算の仕方を考えようとしている。	
		・10の位までの小数の加法及び減法の意味について理解している。					
	・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを分数を用いて表すことができる。	・分数が用いられる場合や分数の表し方について知り、分数の意味について理解している。		・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すとき、単位分数の幾つ分かで表すことを考えている。		・分数を用いると整数で表せない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すことができるなどのよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしている。	
		・分数は、単位分数の幾つ分かで表せることを理解している。		・簡単な場合について、分数の加法及び減法の計算の仕方を考えている。			
	・分数の構成や分数の大きさなどについての豊かな感覚をもっている。						
	・簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味を理解している。						
・そろばんを用いて数を表したり、簡単な加法及び減法の計算をしたりすることができる。	・そろばんによる数の表し方について理解している。		・そろばんによる加法及び減法の計算の仕方を考えている。		・そろばんによって、数を表したり、計算したりすることができることに気付いている。		
	・そろばんによる加法及び減法の計算の仕方について理解している。						

B 量と測定	長さ、重さの測定をしたり、必要な時間を求めたりするなどの技能を身に付けている。	長さ、重さ、時間の大きさについての感覚を豊かにするとともに、長さ、重さの単位と測定の意味、時間について理解している。	長さ、重さを測定したり、時間を求めたりすることを通して、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりしている。	長さ、重さ、時間について調べたり筋道を立てて考えたりすることの楽しさやよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしている。
	・長さの単位(km)を用いて、身の回りの長さを調べることができる。	・長さの単位(km)について理解している。	・普遍単位の必要性に気づき、重さの表し方を考えている。	・長さの単位(km)が生活で用いられることに興味をもち、1kmの長さを進んで調べようとしている。
	・重さの単位(g, kg)を用いて、身の回りの具体物の重さを測定することができる。	・1 km がどのくらいの長さであるかを、学校からの道のりを基にとらえるなど、長さの大きさについての豊かな感覚をもっている。	・長さ、体積、重さについて、1kmは1000m、1lは1000ml、1kgは1000gという関係を基に、単位の大きさについて考えている。	・生活で用いられる重さに関心をもち、重さの量を数値化することのよさに気づき、身の回りのものの重さを測定しようとしている。
		・重さの単位(g, kg)と測定の意味について理解している。		
		・1 kgや1 gがどのくらいの重さであるかを、身の回りにあるものの重さを基にしてとらえるなど、重さの大きさについての豊かな感覚をもっている。		
	・長さや重さについて、単位や計器を適切に選んで測定することができる。	・長さや重さについて、およその見当を付け、測定に用いる単位や計器を適切に選択することを通して、単位の大きさについての豊かな感覚をもっている。	・長さや重さについて、目的に応じて単を選んだり、計器を選んだりすることを考えている。	・長さや重さについて、およその見当を付け、目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定しようとしている。
	・日常生活の中で必要となる時刻や時間の求め方を考えている。	・秒について理解している。	・日常生活の中で必要となる時刻や時間を求めることができる。	・測定して得られた長さや重さを、適切な単位を選択して、扱いやすい大きさに表すことのよさに気付いている。 ・日常生活で時間の単位(秒)が用いられている場面を調べようとしている。 ・日常生活の中で時刻や時間に関心をもち、進んで活用しようとしている。

C 図形	二等辺三角形、正三角形、円などの図形を構成するなどの技能を身に付けている。	二等辺三角形、正三角形、円などの図形についての感覚を豊かにするとともに、それらの意味や性質について理解している	二等辺三角形、正三角形、円などの図形についての観察や構成などを通して、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりしている。	二等辺三角形、正三角形、円などの性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることの楽しさやよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしている。
	・定規とコンパスを用いて、二等辺三角形や正三角形を作図することができる。	・二等辺三角形や正三角形の意味や性質について理解している。	・三角形について、その違いに気づき分類し、分類した三角形の特徴を見いだしている。	・身の回りから、二等辺三角形や正三角形を見付けようとしている。
	・二つの角を重ねることによって、角の大きさが同じかどうかを調べることができる。	・二等辺三角形や正三角形で平面を敷き詰めて、敷き詰めた図形の中にいるいろいろな形を認めたり、できる模様的美しさを感じたりするなど、図形についての豊かな感覚をもっている。	・二等辺三角形や正三角形を観察したり、折ったり重ねたりすることを通して、二等辺三角形や正三角形の性質を見いだしている。	・二等辺三角形や正三角形を作図したり、構成したりしようとしている。
	・コンパスを用いて円をかくことができる。	・一つの頂点から出る2本の辺が作る形を角ということを理解している。	・円周上のどの点も中心から等距離にあることを見付けている。	・二等辺三角形や正三角形で平面を敷き詰める活動を楽しみ、できる模様的美しさや平面の広がりについて気付いている。
	・コンパスを用いて、等しい長さを測り取ったり、長さを移したりすることができる。	・円の中心、半径、直径について理解している。	・円の半径や直径は無数にあることを見付けている。	・身の回りから、円や球を見付けようとしている。
		・コンパスの使い方について理解している。		・身の回りから、円や球がどのように使われているかに関心をもっている。 ・円の模様作りの活動を楽しみ、円のもつ美しさについて気付いている。
		・球の中心、半径、直径について理解している。		
	・球を平面で切ると切り口はすべて円になることや、球を中心を通る平面で切ると切り口が最大になることを理解している。			

D 数量関係	数量の関係を式を用いて表したり、資料を分類整理して表や棒グラフに表したり読み取ったりするなどの技能を身に付けている。	□などを用いた式、棒グラフの読み方やかき方などについて理解している。	数量の関係を式に表したり、資料を分類整理し、表や棒グラフに表したり読み取ったりすることを通して、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりしている。	式に表すこと、表や棒グラフに表すことなどについて調べたり筋道を立てて考えたりすることの楽しさやよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしている。
	・除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。	・式に表したり、式を読み取ったりすることを通して、除法が用いられる場面の数量の関係について理解している。	・除法が用いられる場面を、具体物や図などを用いて考え、式に表している。	・除法の式に表したり、式を読み取ったりすることに関心をもち、いろいろな場面を式に表そうとしている。
			・除法の式を、具体的な場面に結び付けてとらえている。	
	・式で表されていることを図で表したり、図で表されていることを式で表したりすることができる。	・式で表されていることと図で表されていることとの関連について理解している。	・数量の関係を表す式と図を関連付けて考えている。	・式で表されていることを図で表そうとしたり、図で表されていることを式で表そうとしたりしている。
	・数量を□などを用いて表し、その関係を式に表したり、□などに数を当てはめて調べたりすることができる。	・未知の数量を□などを用いて表すことにより、数量の関係を式で表せることを理解している。	・□などを用いた式について、□などに当てはまる数の調べ方を考えている。	・未知の数量を□などの記号を用いて表すことのよさに気付いている。
	・資料を分類整理して棒グラフに表したり、棒グラフを読み取ったりすることができる。	・棒グラフの読み方やかき方について知り、資料の特徴のとらえ方について理解している。	・資料を分類整理するとき、目的に応じた分類の観点を選ぶことを考えている。	・身の回りにある事象について、目的に応じて観点を決め、資料を分類整理したり、表やグラフに表したりしようとしている。
	・簡単な二次元の表を作ったり、表を読み取ったりすることができる。	・棒グラフで表すと、数量の大小や差などがとらえやすくなることを理解している。 ・簡単な二次元の表の読み方や表し方について理解している。	・資料を分類整理するとき、資料に落ちや重なりがないことを確認したり、誤りがおきにくいような方法を考えている。 ・棒グラフをかくときに、グラフ用紙での目盛りの取り方を工夫することを考えている。	・簡単な二次元の表を用いて、資料を目的にあった手際の良い方法で分かりやすく整理しようとしている。